

マーケットの動き（2023年4月17日～4月21日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。

5月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）に投資家の関心が集まる中、発表される米国経済指標の結果を受けて債券は売り買いが交錯する展開となりました。週末にかけて、発表された4月の米国PMI（購買担当者景気指数）速報値が改善したことから過度な米国景気後退懸念が和らぎ、債券は売られて週を終えました。

欧州国債市場は、3月の英国CPI（消費者物価指数）が市場予想を上回り金利は上昇しました。

投資環境見通し（2023年4月）

長期金利は、米国、欧州（ドイツ）ともにレンジ内での動き

米国：長期金利は、労働需給のひっ迫やインフレを巡る先行き不透明感が上昇圧力となりますが、中堅銀行の経営破綻に端を発した金融システム不安や信用収縮による景気後退への懸念もあり、レンジ内での動きになるとみえています。ただし、金融システム不安を巡って「質への逃避」の動きが広がる場面では、一時的に低下する場面もあるとみえています。

欧州：ドイツ長期金利は、域内コアCPI（消費者物価指数）の高止まりと賃金上昇圧力への警戒感が押上げ要因とみられますが、欧州地域の金融システム不安に加えて、将来の景気後退懸念や、ECB（欧州中央銀行）は引き締め姿勢を軟化するとの見方もありレンジ内での動きになるとみえています。

	4月21日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	3.57	0.05	▲0.03	▲0.65	0.65
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース(騰落率)	513.37	0.22%	2.04%	▲2.26%	▲1.29%

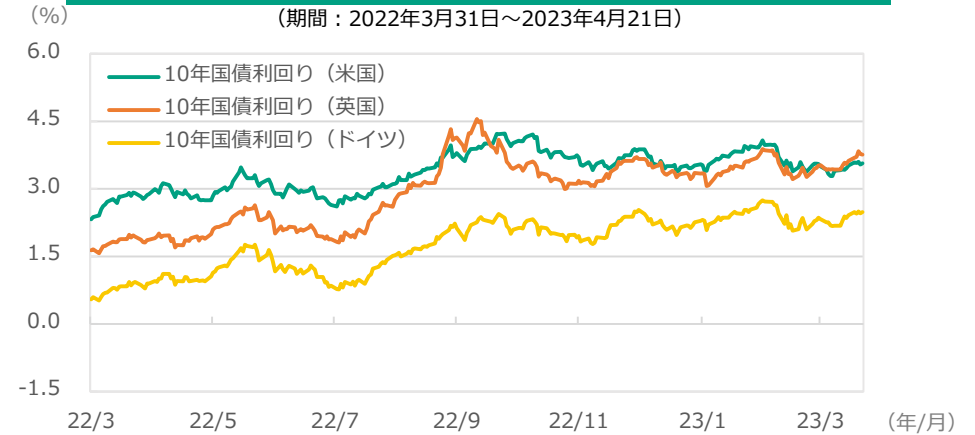
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

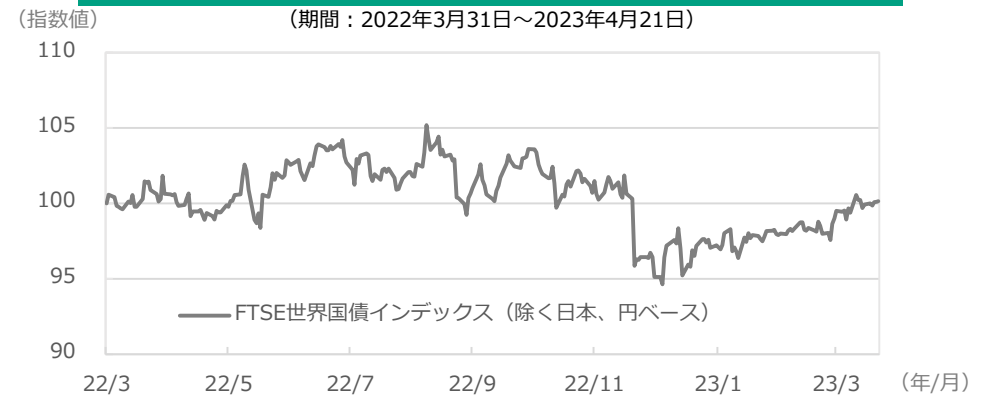
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202304_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移



FTSE世界国債インデックスの推移



※2022年3月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成